

## ■ カメラとレンズの組み合わせ適応表

組み合わせの詳細は各カメラやレンズの使用説明書をご参照ください。

フォーマット	カメラ	AF(オートフォーカス) レンズ (DXレンズ <sup>1</sup> を含む)					AF-S テレコンバーター	MF(マニュアル フォーカス) AI-Sレンズ	
		AF-Sレンズ		AF-Pレンズ		モーターを内蔵していない (AFカップリングを有する) AFレンズ			
		Dタイプ/Gタイプ	Eタイプ	Gタイプ/Eタイプ					
				FX対応レンズ	DXレンズ				
FX	D5 <sup>*2+9</sup> , D750	○	○	○ <sup>*7</sup>	△ <sup>*5</sup>	○	○ <sup>*8</sup> (f/8対応)	MF <sup>*9+10</sup>	
	Df <sup>*4</sup> , D810, D810A <sup>*3</sup>	○	○	○	△ <sup>*5</sup>	○			
DX	D500	○	○	○	○	○		○ <sup>*8</sup>	MF <sup>*11</sup>
	D7500	○	○	○	○	○			
	D7200, D7100	○	○	△ <sup>*5</sup>	△ <sup>*5</sup>	○			MF <sup>*9+10</sup>
	D5600, D5500, D5300, D3300	○	○	○ <sup>*6</sup>	○ <sup>*6</sup>	MF			MF <sup>*11</sup>
	D3400	○(Dタイプ: MF <sup>*11</sup> )	○	○	○	MF			
D5200	○	○	△ <sup>*5</sup>	△ <sup>*5</sup>	MF				
FX	D4S	○	○	△ <sup>*5</sup>	×	○		○ <sup>*8</sup> (f/8対応)	MF <sup>*9+10</sup>
	D610	○	○	○ <sup>*7</sup>	×	○			
	D4, D800シリーズ	○	○ <sup>*7</sup>	△ <sup>*5</sup>	×	○			
	D600	○	○ <sup>*7</sup>	○ <sup>*7</sup>	×	○			
DX	D3シリーズ, D700	○	○ <sup>*7</sup>	△ <sup>*5</sup>	×	○	○ <sup>*8</sup>	MF <sup>*9</sup>	
	D300シリーズ, D7000	○	○ <sup>*7</sup>	△ <sup>*5</sup>	×	○			
	D2シリーズ, D200	○	×	×	×	○			
	D1シリーズ	○	×	×	×	○			
	D5100, D5000, D3200, D3100	○	○	×	×	MF			
	D3000, D60, D40シリーズ	○	×	×	×	MF			
	D100, D90, D80, D70シリーズ, D50	○	×	×	×	○			
35mm(フィルム)	F6	○	×	×	×	○	MF <sup>*9+10</sup>		

○: 使用可能 △: 制限あり ×: 使用不可 MF: マニュアルフォーカスで使用可能

VRレンズはFXフォーマット/DXフォーマットのニコンデジタル一眼レフカメラ、F6、F5、F100、F80シリーズ、U2、Uで使用可能。

Eタイプレンズ・Gタイプレンズには、オート接写リング、その他のリング類やベロースアタッチメントは使用できません。

\*1: DXレンズは撮像範囲が小さいDXフォーマットのデジタル一眼レフカメラ用に小型軽量化を図ったレンズです。イメージサークルが小さいので、FXフォーマットのデジタル一眼レフカメラでも撮像範囲をDXフォーマットに設定して使用可能ですが、DXフォーマットより広い撮像範囲を選びと画面周辺部が黒くなりたり、充分な解像度が得られなかったりすることがあります。

\*2: D5、D500で撮影する場合、使用できるフォーカスポイントのうち、クロスセンサーを使用するポイントは装着しているレンズによって異なります。

\*3: D5、D810A、D500で、高感度や長時間露出で撮影する場合は、一部のVRレンズの装着については注意が必要です。詳細はニコンホームページをご確認ください。

\*4: DfはAI方式以前の連動爪を使用するレンズを使用し、露出モードM(マニュアル)とA(絞り優先オート)で使用可能。

\*5: ピント合わせを行った後にカメラの半押しタイマーがオフになると、再び半押しタイマーがオンになったときにピント位置が変わります。撮影時に再度ピント合わせが必要となります。MF(マニュアルフォーカス)で撮影する際、ピント合わせからシャッターをきるまでに時間がかかる場合は、カメラの半押しタイマーを長めに設定するとトラブルを回避できます。

\*6: D5500、D5300、D3300は、最新版のファームウェアにバージョンアップしてからお使いください。

\*7: 最新版のファームウェアにバージョンアップしてからお使いください。

\*8: (f/8対応)の機種では合成の開放絞りがf/8までの明るさでAF(オートフォーカス)撮影できます。その他の機種ではf/5.6までの明るさでAF(オートフォーカス)撮影できます。

\*9: 露出モードP(プログラムオート)とS(シャッター優先オート)は使用できません。

\*10: 「レンズ情報手動設定」でレンズの焦点距離、開放絞り値を設定すればマルチパターン測光ができます。

\*11: 露出モードM(マニュアル)で使用可能。露出インジケータは使用できません。

### フィルム一眼レフカメラ使用上の注意

・DXレンズ、AF-Pレンズ、Eタイプレンズはフィルム一眼レフカメラでは使用できません。

・GタイプレンズはF3AF、F-601、F-501、および、FM10やその他のMF(マニュアルフォーカス)カメラ(F-601Mを除く)では使用できません。GタイプレンズはF4、F90Xシリーズ、F90シリーズ、F70D、F-801シリーズ、および、F-601Mでは露出モードM(マニュアル)とA(絞り優先オート)が使用できません。

・AF-S/AF-IレンズはUS、F60D、F50D、F-801シリーズ、F-601、F-501、F-401シリーズではオートフォーカス撮影ができません。

・マニュアルフォーカスレンズ(AI-S)はF80シリーズ、U2、U、US、F60D、F50D、F-401シリーズ、プロネアシリーズでは露出インジケータが使用できません。

・CPUレンズ(F3AF用のAF80mmF2.8S、AF200mmF3.5S、TC-1.6S以外の電気接点を有するレンズ、テレコンバーター)はF3AFでは使用できません。